

事務事業及び予算の執行実績
(令和6年度分「一部、令和7年度分を含む」)

静岡県立浜松西高等学校

目 次

1	事務事業の概要	1
2	事務執行の根拠法令調	19
3	学校施設の概要	20
4	在籍生徒調	21
5	入学志願者及び入学者数調	22
6	卒業生の動向調	23
7	生徒の状況	24
8	授業料収納状況調	25
9	県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調	29
10	預金調	30
11	郵券等受払調	30
12	委託料等歳出予算執行状況節別集計表	31
13	委託料等歳出予算執行状況節別集計表	32
14	委託料に関する調	33
15	負担金支出調	35
16	建築工事調	37
17	公有財産調	39
18	借地借家等調	40
19	事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調	41
20	行政財産貸付・使用許可調	42
21	主要備品調	44
22	職員調	45
23	職員の年齢調	48
24	健康管理	49

事務事業の概要

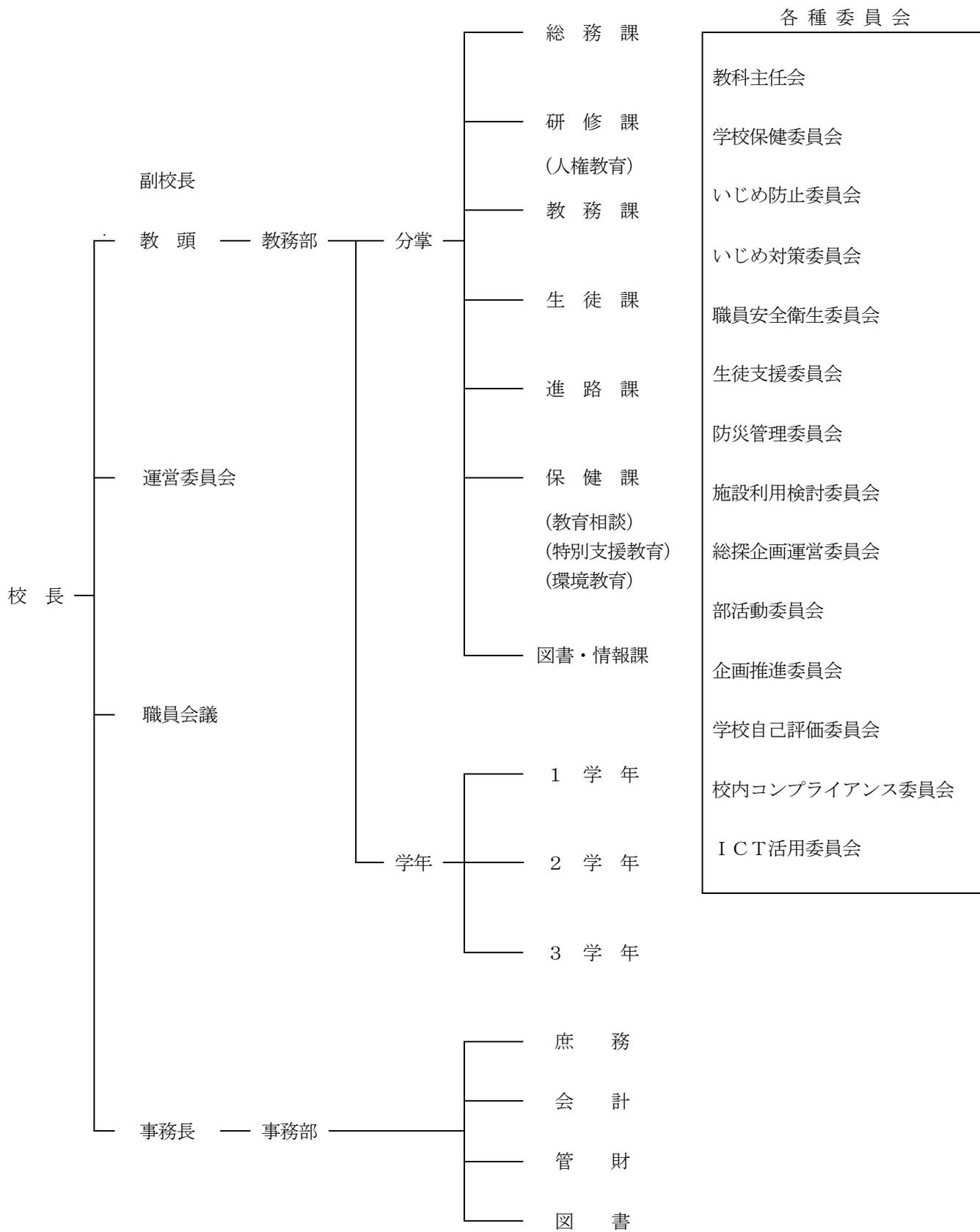
1 概況

(1) 学校の沿革

大正12年11月20日	文部省告示により設置を許可される。
13年4月4日	開校 静岡県立浜松第二中学校と称する。 静岡県浜松師範学校において入学式挙行、翌5日より同校を仮校舎として授業を開始する。
14年2月7日	第一期工事竣工につき校舎現在地に移転する。
昭和15年5月7日	静岡県告示第440号を以って定員750人に改正される。
19年8月1日	学徒動員により浜松航空分廠へ第5学年の全員、鈴木織機(株)へ第4学年及び第3学年の一部、石川鉄工所へ第3学年の一部、日本蓄音機(株)へ第3学年の一部、大東機工(株)へ第3学年一部がそれぞれ配属される。
20年3月28日	臨時措置により4年生全員繰上げ卒業、上級学校合格者も本校に委託生として動員先に留まる。
21年4月1日	中学校修業年限延長に関する措置要領により修業年限5か年に延長
23年4月1日	新学制施行に伴い静岡県立浜松第二高等学校として認可される、在學生は高等学校第1・第2・第3学年・中学校第3学年に編成される。
24年4月5日	静岡県教育委員会告示第8号により通学区(小学区)が定められ男女共学制が実施される。完成年度定員900人となる。 静岡県教育委員会告示第9号により校名を静岡県立浜松西高等学校と改められる。
26年12月30日	教務第572号静岡県教育長通牒により通学区を浜松市・浜名郡・引佐郡に改正される。
29年7月5日	火災により本館北校舎等857坪を焼失、授業を休止する。
29年8月16日	残有建物を間仕切り、仮教室として授業を再開する。
30年11月11日	講堂及び復旧校舎落成祝賀行事を行う。
43年11月30日	体育館(1,709.46㎡)竣工
46年8月30日	プール(50m 8コース)竣工
46年11月30日	柔剣道場(508㎡)竣工
47年2月15日	西山寮(821.4㎡)竣工
48年10月6日	創立50周年記念式典を行う。
51年3月15日	記念館・特別教室(765㎡)竣工
59年11月20日	創立60周年記念式典を行う。
61年4月1日	静岡県告示により理数科を新設し1学年定員445人となる。
62年3月26日	学校敷地1,428.02㎡所属替引継増となる。

- 平成2年2月20日 老朽校舎改築事業（浜松西高校全面改築）が県議会において議決される。
- 2年6月30日 仮設プレハブ校舎（2階建）4棟外5,840.88㎡運動場に完成
- 2年7月16日 校舎解体工事着手（鉄筋コンクリート造2棟）
- 2年8月31日 旧校舎解体工事終了（6,366.40㎡）
- 2年12月27日 学校敷地買入（国有地払い下げ355.50㎡）
- 3年11月30日 校舎竣工
（南棟 鉄骨鉄筋コンクリート造2階建1,306.95㎡）
（北棟 鉄骨鉄筋コンクリート造5階建7,542.95㎡）
- 4年3月25日 自転車置場（594㎡）、倉庫（64㎡）竣工
- 4年5月25日 校舎落成式を挙げる。
- 5年4月1日 静岡県告示により1学年定員427人となる。
- 6年4月1日 静岡県告示により1学年定員418人となる。
- 6年4月1日 浜松市より雨水貯留施設財産移管
- 6年11月4日 多目的トレーニング場（西山錬成館）648.18㎡竣工
（創立70周年記念事業＝後援会事業）
- 6年11月18日 創立70周年記念式典を行う。
- 7年4月1日 静岡県告示により1学年定員409人となる。
- 8年4月1日 静岡県告示により1学年定員400人となる。
- 10年3月31日 プール改築工事竣工（50m 8コース）
- 11年10月22日 多目的トレーニング場（西山錬成館）が後援会から県に寄付受納される。
- 14年4月1日 静岡県告示により第1学年定員240人となる。
- 15年4月1日 静岡県告示により理数科が募集停止となり、第1学年定員200人となる。
- 16年11月20日 創立80周年記念式典を行う。
- 17年3月31日 理数科閉科となる。
- 18年1月31日 体育館耐震補強工事竣工
- 21年4月1日 静岡県告示により1学年定員240人となる。
- 26年11月20日 創立90周年記念式典を行う。
- 27年4月1日 学校敷地25,874.66㎡所属替引継増となる。
- 令和6年11月14日 創立100周年記念式典を行う。

(2) 組織図
校務分掌表



2 目指す学校像

進取の精神に富む国際都市・浜松における中高一貫教育及び高校教育の拠点校として、すべての教育活動を通して、生徒に高い知性、豊かな心、たくましい力を育み、社会貢献への高い志を持つ人材及び国際社会のリーダーとして輝く人材の育成を目指す。

3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

(1) 令和6年度の取組目標への評価及び成果と課題

【評価の基準】

A：十分目標を達成することができた

B：おおむね目標を達成することができた

C：あまり目標を達成することができなかった

D：ほとんど目標を達成することができなかった

	取組目標	成果目標	達成状況 ()は前年度	評価	成果と課題
ア	知的好奇心・探究心を大切に、幅広い知識・思考力・表現力等、未来に生きる確かな学力を育成する。	○「授業の内容がよく分かる」80%以上	○89.5% (89.1%)	B	○授業の目標を明確にして資質・能力の育成を念頭に置いた授業が展開されている。 ○授業→復習の学習サイクルが概ね確立されている。 ●家庭学習時間が十分に確保されておらず、時間的な余裕がないと想像される。
		○「授業は学力を伸ばすことに十分役立っている」80%以上	○92.8% (90.6%)		
		○「家庭学習時間が120分以上」80%以上、「60分未満」0%	○120分以上 5月→10月 70.5%→61.5% (62.0%) (63.5%) 60分未満 6.0%→11.0% (6.5%) (7.5%)		
		○「授業→復習の学習サイクルが確立できている」数英各70%以上	○数74.9% (70.2%) 英68.9% (66.1%)		
		○「本校の図書館を月1回以上利用している」50%以上	○20.5% (18.8%)	B	○図書館だよりの発行、読書感想文コンクール応募、リブリオバトル等の活動に取り組んだ。 ○読書が習慣となりつつある。 ●図書館オリエンテーションを実施しているが、利用率の大きな向上には至っていない。
		○「毎日のように読書をしている」50%以上	○48.0% (新規)		

	取組目標	成果目標	達成状況 ()は前年度	評価	成果と課題
イ	地域社会・国際社会のリーダーとして必要なコミュニケーション能力・高い倫理観等の資質・能力を育成する。	○「興味や関心を喚起される授業が行われている」80%以上	○88.3%(82.3%)	A	○目標や学習内容に応じて対話的に学ぶ場を設定することにより、自身の学びを拡げ深めることができている。
		○「自分の意見を相手にはっきり伝えることができる」80%以上	○87.0%(84.2%)		
ウ	生命に対する畏敬の念や異なる人々を受け入れる優しさを育てるとともに、防災や安全に関する意識を高める。	○「相手の意見をしっかりと受け止めることができる」80%以上	○96.8%(96.3%)	A	○自ら考え判断し行動する場面や活躍する場を意図的に設定することにより、主体性を育成することができている。
		○「自分から進んで行動できる」80%以上	○79.0%(77.0%)		
ウ	生命に対する畏敬の念や異なる人々を受け入れる優しさを育てるとともに、防災や安全に関する意識を高める。	○「学校生活に満足している」80%以上	○91.7%(91.3%)	A	○自ら考え判断し行動する場面や活躍する場を意図的に設定することにより、主体性を育成することができている。
		○「自他の生命の大切さについて、主体的に考えている」80%以上	○97.9%(93.9%)		
		○「学校において悩み等を相談する方法や場所を知っている」90%以上	○88.7%(86.0%)		
ウ	生命に対する畏敬の念や異なる人々を受け入れる優しさを育てるとともに、防災や安全に関する意識を高める。	○防災マニュアルポケット版の携帯率100%	○97.6%(97.9%)	A	○定期的な点検を実施することにより防災意識の向上が見られる。
		○防災に関する職員研修を実施。	○防災訓練地区別集会において、危険箇所チェックや帰宅ルートについてワークショップを実施。		
ウ	生命に対する畏敬の念や異なる人々を受け入れる優しさを育てるとともに、防災や安全に関する意識を高める。	○交通マナーに関する苦情0件、交通事故0件	○苦情5件(6件) 交通事故17件(11件)	B	●一時不停止による事故、自転車同士や単独の事故が増加している。

	取組目標	成果目標	達成状況 ()は前年度	評価	成果と課題
エ	自分の幸福を追求するだけでなく、社会の発展に積極的に貢献しようとする意欲をもつ生徒を育てる。	○「学校行事以外でボランティア活動をした」70%以上	○30.8% (23.2%)	C	●生徒会が中心となって活動し年々数値は向上しているが、意識の向上に課題がある。
		○「フィールドスタディ・プログラムに満足している」80%以上 ○「大学での学びに興味関心が高まった」80%以上 ○「探究学習は、課題発見解決能力の向上や、自己の進路選択に役立っている」80%以上 ○「相手の立場や意見を尊重している」90%以上	○94.8% (90.8%) ○88.7% (77.7%) ○78.9% (75.4%) ○98.1% (98.2%)		
		○「校則等の決まりを守って生活している」90%以上 ○「規則正しい生活をしている」90%以上 ○「近所や知り合いの人にあいさつをしている」90%以上	○97.8% (98.3%) ○80.9% (81.8%) ○86.2% (86.0%)	B	○ルールを守る意識は高い。 ●自転車マナーやスマートフォン使用が課題である。
オ	目標の実現に粘り強く取り組むたくましい心と体を育成するとともに、生徒の主体的な取組を通して自主・自律の精神を育み、生徒が主役の明るく規律ある学校づくりを進める。	○「学校行事に積極的に取り組んでいる」80%以上	○94.7% (94.5%)	A	○生徒主体の運営ができている。
		○「学校が楽しい」90%以上 ○「学校において人間関係は良好である」90%以上	○90.8% (92.0%) ○95.1% (95.3%)	A	○大半の生徒は人間関係が良好であり、安心・安全な学校生活を送ることができている。
		○「校内美化（清掃等）に前向きに取り組んでいる」90%以上	○89.5% (88.1%)	A	○通常時の清掃に加えて、環境デイ（特別清掃日）を設定し、校内美化の意識が高まった。

	取組目標	成果目標	達成状況 ()は前年度	評価	成果と課題
カ	系統的・組織的な進路指導を通して、一人一人の夢と志を可能とする進路を実現する。	○高2末までにオープンキャンパス参加者80%以上 ○「大学教授などの外部の方から話を聞くことで進路意識が高まっている」80%以上 ○「西山台チャレンジサポート」申請者の増加	○高2年 100% (58.8%) ○79.8% (76.2%) ○2件(1件)	A	○全ての高校2年生が、オープンキャンパスについて報告した。 ○東大キャンパスツアーや大学レクチャーを計画的に実施し、進路に関する学校行事の充実を図った。
		○「学校から進路に関する情報や指導を十分受けている」80%以上	○90.9% (89.8%)	A	○進路担当やHR担任から、適切な時期に適切な情報を提供している。
		○生徒自らが立てる進路目標実現率90%以上 ○難関国公立大合格者35人 ○国公立大合格者120人	○1月実施新課程初回の共通テストは、概ね良好な結果であり評価できる。個別大学入試に向けて、学校全体で協力体制もできている。	A	○「進路検討会」を3回実施し、個々の進路実現につながる手立てを組織として検討し、進路指導に生かしている。
キ	生徒を鍛え、生徒の自己実現を支援することができる、高い指導力をもつプロの教師集団を目指す。また、組織を支える教職員一人一人のワークライフ・バランスの保持・向上に努める。	○評価の方法・課題等について情報共有を行う。 ○中等部・高校間の授業見学率100% ○授業リサーチの実施 ○ICT活用について他校等における事例の情報共有を行うとともに、研修会を通じて、アクティブラーニングの取組が活発化する。 ○人権教育に関する情報提供1回以上 ○外部の教科研修会への参加者10名以上 ○「学校に信頼できる教師がいる」80%以上	○評価の方法・課題等について各教科において情報交換・協議を行い改善につなげた。 ○81.0% (100%) ○94.4% (94.4%) ○各教科の授業において生徒同士の対話を重視しつつ、ロイノートやGoogleクラスルームを積極的に活用することを通して、資質・能力の育成を図った。 ○人権担当者研修伝達講習及び人権に関する職員研修を実施。 ○9人(8人) ○86.7% (83.8%)	A	○評価については順調に実施できているが、運用を開始して3年経過したため、検証が必要である。 ○年2回以上の授業見学を教員に求めた。 ○授業改善に関する研修会は内容を充実させることができ、教員の意識が向上した。 ○人権研修を実施し、特別支援教育に関する理解を深めることができた。

	取組目標	成果目標	達成状況 ()は前年度	評価	成果と課題
		○管理職からの声掛け 100% ○月80時間以上の時間 外勤務従事者5%以下	○時間外在校時間 月80時間以上の職 員を対象に管理職 からの声掛けを実 施。職員退庁時刻 の設定。 ○16.4%(18.0%)	B	●時間外在校時間月80時 間以上の職員を対象に管 理職からの声掛けを実施 した。年度途中から完全 退庁時刻を設定した。そ の結果、若干の改善が見 られる。
ク	「魅力ある学 校づくり」を 進め、中高一 貫の特色を生 かした信頼さ れる教育体制 の充実に努め る。	○「シラバスから授業 の年間計画が分かる」 80%以上 ○中高教員の乗り入れ 8人以上 ○生徒支援委員会 年6回以上	○85.6%(84.1%) ○10人(社会1、理科 2、音楽2、保健体育 4、家庭1) ○6回実施。	A	○中長期的な目標を意識し ながら、学習指導を充実さ せている。 ○中高一貫教育の強みを生 かし、中高合同部活動を設 定した。 ○定期的に情報を共有する ことにより、早期に対応す ることができている。
		○「3年間または6年 間を通した進路指導計 画について知っている」80%以上	○71.3%(68.2%)	B	○年度当初に職員で共通 理解を図り、月間目標の クラス掲示、進路通信、 学年集会での講話を効果 的に活用した。
ケ	コンプライアン スの遵守に配慮 するとともに、 情報の発信を積 極的に行い、生 徒・保護者・地 域の人々から信 頼される学校経 営に努める。	○「学校の教育活動に 信頼感を抱いている」 保護者90%以上 ○ホームページの年間 更新100件以上、アクセ ス数50,000件以上	○92.5%(91.0%) ○アクセス数71,000 件(89,000件)	A	○メール配信システムを 活用して、通知文書や連 絡事項について迅速に情 報を提供した。
		○「学校説明について 分かった」参加者90%以 上	○8月100% 10月97.1%(新 規)	A	○授業や部活動に真摯に取 り組む様子が中学生やその 保護者に好評であった。
コ	教育目標を達 成するため、 各目標具現化 の柱の遂行に 係る適切な財 務執行を図 る。	○節電等経費削減の周 知を徹底し、光熱水費 使用量を、令和3年度 を基準に削減する。 ○監査、検査等での指 摘事項0件	○令和3年度比較 電気4.9%削減 ガス39.9%削減 水道0.4%削減 ○0件(0件)	A	○生徒の安全に配慮しな がら、節約の意識が高ま っている。 ○適正な事業・処理が行 われた。

(2) 令和7年度の取組目標・達成方法・成果目標

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標
ア	知的な好奇心・探究心を大切に、幅広い知識・思考力・表現力等、未来に生きる確かな学力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ○年間指導計画に基づく効果的な授業と指導の充実に努める。 ○「よくわかり力の付く授業」を行うとともに、生徒の真摯な学習態度の育成を図る。 ○「生徒は何かができるようになるか」が明確な授業を行う。 ○家庭学習を質・量ともに充実させ、授業→復習という習慣を身に付けさせ、主体的な学習習慣を確立させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「授業の内容がよく分かる」80%以上 ○「授業は学力を伸ばすことに十分役立っている」80%以上 ○「家庭学習が充実している」80%以上 ○「授業→復習の学習サイクルが確立できている」数英各70%以上
		<ul style="list-style-type: none"> ○学習活動に利用しやすい図書館運営を行う。 ○的確で迅速な図書の選定と生徒・職員への広報活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「本校の図書館を月1回以上利用している」50%以上 ○「毎日のように読書をしている」50%以上
イ	地域社会・国際社会のリーダーとして必要なコミュニケーション能力・高い倫理観等の資質・能力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ○ICTを積極的に活用するとともに、主体的な学びと対話を重視した学びを充実させる。 ○コミュニケーション能力を高めるため、ペアワークやグループワークなどを通じて、自分の意見を述べたり相手の意見を聞いたりする機会、発表を行う機会などを増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「興味や関心を喚起される授業が行われている」80%以上 ○「自分の意見を相手にはっきり伝えることができる」80%以上 ○「相手の意見をしっかり受け止めることができる」80%以上
		<ul style="list-style-type: none"> ○授業、特別活動、部活動等において、生徒一人一人が役割を持ち、責任を持って取り組むことで、行動力、主体性、自律心を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「自分から進んで行動できる」80%以上 ○「学校生活に満足している」80%以上
ウ	生命に対する畏敬の念や異なる人々を受け入れる優しさを育てるとともに、防災	<ul style="list-style-type: none"> ○思春期セミナー、薬学講座、献血を実施する。 ○生徒が相談しやすい環境を作る。 ○スクールカウンセラーとの密接な情報交換を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「自他の生命の大切さについて、主体的に考えている」80%以上 ○「学校において悩み等を相談する方法や場所を知っている」90%以上

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標
	や安全に関する意識を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ○大規模地震に対応する能力を育てるための防災教育の充実を図り、防災マニュアルポケット版を常時携帯させる。 ○大規模災害発生後の残留生徒・避難住民への対応の諸課題を整理し体制を整備する。 ○交通安全教室、街頭指導を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○防災マニュアルポケット版の携帯率100% ○防災に関する職員研修を実施。 ○交通マナーに関する苦情0件、交通事故0件
エ	自分の幸福を追求するだけでなく、社会の発展に積極的に貢献しようとする意欲をもつ生徒を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ボランティア体験活動への参加を奨励する。また、職場見学・体験、研修旅行等を通して社会と自己との関わりに関心を持たせ、奉仕の精神を涵養する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「ボランティア活動や地域の活動に参加した」70%以上
		<ul style="list-style-type: none"> ○「浜西探究プログラム」の実施を通じて、文理の枠を超えて人類の未来、地域の未来を考える機会を増やす。 ○探究学習を通じて、課題発見解決能力及び進路意識を高める。 ○様々な立場の方と交流することを通じて、生徒は相手の立場や考えを踏まえて行動することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「フィールドスタディ・プログラムに満足している」80%以上 ○「大学での学びに興味関心が高まった」80%以上 ○「探究学習は、課題発見解決能力の向上や、自己の進路選択に役立っている」80%以上 ○「相手の立場や意見を尊重している」90%以上
		<ul style="list-style-type: none"> ○爽やかな挨拶、正しい服装、時間厳守等の基本的な生活習慣の定着とマナーの向上を図る。 ○礼儀やマナー、服装等の指導を共通理解の下に行う。 ○挨拶＋一言の声掛けを励行する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「校則等の決まりを守って生活している」90%以上 ○「規則正しい生活をしている」90%以上 ○「近所や知り合いの人にあいさつをしている」90%以上
オ	目標の実現に粘り強く取り組むたくましい心と体を育成するとともに、生徒の	<ul style="list-style-type: none"> ○文化祭、コーラスコンクール、体育祭等において、自主的運営を生徒に促す指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「学校行事に積極的に取り組んでいる」80%以上

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標
	主体的な取組を通して自主・自律の精神を育み、生徒が主役の明るく規律ある学校づくりを進める。	○人間関係づくりプログラムを学年ごとに実施し、人間関係の構築を図るとともに、生徒が安心・安全な学校生活を送ることができるようにする。	○「学校が楽しい」90%以上 ○「学校において人間関係は良好である」 90%以上
		○清掃に一生懸命取り組むように指導する。 ○特別清掃日を設定し、環境整備活動を実施することで、学び舎を清潔にし、明るい雰囲気を作る。	○「校内美化（清掃等）に前向きに取り組んでいる」 90%以上
カ	系統的・組織的な進路指導を通して、一人一人の夢と志を可能とする進路を実現する。	○確かな志・職業観を育む活動を計画的に実施する。 ・進路講演会、大学レクチャー、大学キャンパス巡り ・オープンキャンパス、西山台チャレンジサポート事業の参加奨励 ○進路資料・進路便りを発行し、ホームルームで活用する。 ○進路室等の整備を行い、掲示物を充実させる。	○高2末までにオープンキャンパス参加者80%以上 ○「大学教授などの外部の方から話を聞くことで進路意識が高まっている」 80%以上 ○「西山台チャレンジサポート」申請者の増加 ○「学校から進路に関する情報や指導を十分受けている」80%以上
		○豊かな学力の育成と適切な進路指導を行う。 ・模擬試験の計画的な実施と事前事後指導の充実 ・自習環境の整備とweb教材の活用推進	○生徒自らが立てる 進路目標実現率90%以上 ○難関国公立大合格者35人 ○国公立大合格者120人
キ	生徒を鍛え、生徒の自己実現を支援することができる、高い指導力をもつプロの教師集団を目指す。また、組織を支える教職員一人一人のワ	○観点別学習状況の評価の <u>更なる改善</u> を行う。 ○授業見学や授業リサーチ、学びの基礎診断の状況を把握し、職員への呼び掛けを行う。 ○ICT活用や将来を見据えたアクティブラーニングに取り組んだ授業を実施する。 ○人権教育に関する情報を提供し、職員の人権意識を高める。	○評価の方法・課題等について情報共有を行う。 ○中等部・高校間の授業見学率100% ○授業リサーチの実施 ○ICT活用について他校等における事例の情報共有を行うとともに、研修会を通じて、アクティブラーニングの取組が活発化する。 ○人権教育に関する情報提供1回以上

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標
	ワークライフ・バランスの保持・向上に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ○外部研修会の情報を提供し、参加を促進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○外部の教科研修会への参加者10名以上 ○「学校に信頼できる教師がいる」80%以上
		<ul style="list-style-type: none"> ○定時退勤日（原則水曜日）の実施を奨励する。 ○こまめな声掛けを行い、月80時間以上の時間外勤務従事者を減らす。 	<ul style="list-style-type: none"> ○管理職からの声掛け100% ○月80時間以上の時間外勤務従事者5%以下
ク	「魅力ある学校づくり」を進め、中高一貫の特色を生かした信頼される教育体制の充実に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ○6カ年の指導計画（シラバス）に基づき、中高連携を意識して指導を充実させる。 ○授業、部活動における中等部教員と高校教員の兼務・交流を活性化させ、一貫教育を推進する。 ○中高合同で生徒支援委員会を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「シラバスから授業の年間計画が分かる」80%以上 ○中高教員の乗り入れ 8人以上 ○生徒支援委員会 年6回以上
		<ul style="list-style-type: none"> ○6年間を通じた進路指導を行う。 ○高3が中3を指導する先輩チュートリアルを実施する。 ○高3担任による中3の面接指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「3年間または6年間を通じた進路指導計画について知っている」80%以上
ケ	コンプライアンスの遵守に配慮するとともに、情報の発信を積極的に行い、生徒・保護者・地域の人々から信頼される学校経営に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ○教育活動の見直しと改善を図るために、学校運営協議会において意見聴取を行い、その結果を公開する。 ○教育活動の紹介と情報提供のために、コンプライアンスの遵守に配慮したホームページの内容の充実と迅速な更新を行う。 ○学校説明会やオープンスクールの内容・日程を検討し、より効果的な広報を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「学校の教育活動に信頼感を抱いている」保護者90%以上 ○ホームページの年間更新100件以上、アクセス数50,000件以上 ○「学校説明について分かった」参加者90%以上
コ	教育目標を達成するため、各目標具現化の柱の遂行に係る適切な財務執行を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○電気使用量等、経費削減の徹底と学校経営予算の計画的、効率的な執行を行う。 ○法令、コンプライアンスを遵守した適正な事務処理を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○節電等経費削減の周知を徹底し、光熱水費使用量を、令和3年度を基準に削減する。 ○監査、検査等での指摘事項0件

4 監査対象期間における特色ある取組

年 度	取組概要	成果及び課題
令和6年度	<p>「浜西探究プログラム」及び「DXハイスクール」の実践</p> <p>浜松西高生が目指す資質・能力を明確にし「探究的な活動」をさらに充実させ、生徒の資質能力を育成する体制を確立するとともに、「理数探究基礎」の要素を加えながら、ICTを活用した文理横断的な学びを進める。</p> <p>1 「浜西探究コンソーシアム」 生徒の活動の様子から、探究の在り方について検証し、大学、地域企業との協働体制のさらなる充実について議論する。</p> <p>2 「フィールドスタディ・プログラム」 令和3～5年度の実践を継続しつつ、協力企業でのフィールドスタディを行い、高校生ならではの視点と経験により、その企業の具体的な課題を理解し、解決策を探り提案する。</p> <p>3 「アカデミック・ライティング・プログラム」 6Qsを踏まえ、各生徒の進路希望に沿ったテーマについて個人研究を行うとともに、大学との協働によりアカデミック・ライティングを学び、探究論文を作成する。発表原稿の作成や発表の場面を設け、自身の興味関心を深める機会とする。</p> <p>4 「DXハイスクール」のための環境整備 大学や企業・他校等との対話を通じて、文理横断的で探究的な学びを充実させるため、プレゼンテーションの配信や双方向での対話が可能な「総探ルーム」を整備するとともに、生徒たちが数学的・科学的な手法などを用いて、仮説から結論まで導いていける指導方法の研究を行う。</p>	<p>1 前年度までの「行きたい学校づくり」の連絡協議会を発展継承させ、県内外の5大学と浜松市産業部、浜松市商工会議所、地域企業、NPO法人を委員としてコンソーシアムを組織し、5月と2月に連絡協議会を実施した。本校の探究活動実施において協力体制を確立でき、意見等を参考にさらなる充実を図っていく。</p> <p>2 100社を超える協力企業のうち、浜松市内の企業27社へのフィールドスタディを実施した。 生徒はグループに分かれて企業研究や実地見学を行い、その企業の課題を見つけ「企業の未来計画書」として解決策を検討した。</p> <p>3 大学教授からの講演や卒業生からの助言を受け、1年生で学んだ探究活動のスキルと6Qs、イノベーションの視点を生かして個人論文を作成することができた。</p> <p>4 国の補助事業を活用し、「総探ルーム」整備のための設備の購入を進めるとともに、「理数探究基礎」をモデルにした指導方法の研修を実施していく。</p>
令和7年度	<p>「浜西探究プログラム」及び「DXハイスクール」の実践</p> <p>浜松西高生が目指す資質・能力を明確にし「探究的な活動」をさらに充実させ、生徒の資質能力を育成する体制を確立するとともに、「理数探究基礎」の要素を加えながら、ICTを活用した文理横断的な学びを進める。</p> <p>1 「浜西探究コンソーシアム」</p>	<p>1 5月にコンソーシアム委員が浜西探究プログラムの生徒発表を聴き、プログラムの検証を行った。産官学民の協力体制のさらなる充実を図っていく。2月にも実施予定。</p> <p>2 企業研究、フィールドスタディ、協働作業を通じて得られた発</p>

	<p>生徒の活動の様子から、探究の在り方について検証し、大学、地域企業との協働体制のさらなる充実について議論する。</p> <p>2 「フィールドスタディ・プログラム」 前年度までの実践を継続しつつ、協力企業でのフィールドスタディを行い、高校生ならではの視点と経験により、その企業の具体的な課題を理解し、解決策を探り提案する。</p> <p>3 「アカデミック・ライティング・プログラム」 各生徒の進路希望に沿ったテーマについて個人研究を行うとともに、大学との協働によりデータサイエンスの研究手法を取り入れながらアカデミック・ライティングを学び、探究論文を作成する。発表原稿の作成や発表の場面を設け、自身の興味関心を深める機会とする。</p> <p>4 「DXハイスクール」を活用して環境整備と総合的な探究の時間の充実 前年度の「総探ルーム」を整備につづき、カラー印刷機を整備し生徒の成果物に活用する。大学教授による講演やリモートによる質疑応答を通して、生徒がデータサイエンスの手法を取り入れた研究において、仮説から結論まで導いていける指導方法の研究を行う。</p>	<p>想や着眼点により、グループ毎に「企業のミライ提案書」を作成し、「浜西総探DAY」において下級生や各企業に報告を行った。</p> <p>3 データサイエンスの手法については、大学教授からの講演やアドバイスを通して、生徒がアカデミック・ライティングの基本として学び、個人探究活動の成果として執筆する論文の質が向上するとともに、概要の発表を通じて、生徒の表現力を高めた。発表の後は、より具体的・実践的なキャリアデザインを描き、その実現に向けた準備につなげていく。</p> <p>4 国の補助事業を活用し、「総探ルーム」整備のための設備の購入を進めるとともに、「理数探究基礎」をモデルにした指導方法の研修を大学教授の講義や生徒との質疑応答から学ぶことで研修を深めていく。</p>
--	---	--

5 教職員について

(1) 異動状況

職名 区分	本 務 職 員													臨時・会計年度任用職員					合 計			
	教育職員					行政職員								本 務 計	教 諭	主 事	外 国 語 指 導 講 師	非 常 勤 講 師		非 常 勤 嘱 託 員	臨時・会計年度任用計	
	校 長	副 校 長	教 頭	教 諭	小 計	事 務 長	主 幹	主 査	主 任	主 事	主 任 技 能 員	技 能 長	小 計									
																						8
転出者	1	1		6	8	1	1		1				3	11						0	11	
退職者				2	2								0	2	1				1	1	2	4
昇任者					0								0	0							0	0
再任用 (退職)				2	2								0	2							0	2
役職定年 (減)					0						1	1	1	1							0	1
役職定年 (増)					0						1	1	1	1							0	1
転入者	1	1		6	8	1	1	1					3	11							0	11
新任者				1	1								0	1	1	1			1	1	2	3
昇任者					0								0	0							0	0
再任用 (新任)				2	2								0	2							0	2
差引増減	0	0	0	△1	△1	0	0	1	△1	0	1	△1	0	△1	0	1	0	0	0	0	1	0

(2) 現 員 数

本 務 職 員													臨時・会計年度任用職員					合 計				
教育職員					行政職員								本 務 計	教 諭	主 事	外 国 語 指 導 講 師	非 常 勤 講 師		非 常 勤 労 務 職 員	非 常 勤 嘱 託 員	臨時・会計年度任用計	
校 長	副 校 長	教 頭	教 諭	養 護 教 諭	実 習 助 手	小 計	事 務 長	主 幹	主 査	主 任	主 事	主 任 技 能 員										小 計
1	1	1	46(3)	1	1	51(3)	1	1	2	1	(1)	1	6(1)	57(4)	1	1	1	5	2	0	10	67(4)

() : 兼務外数

(3) 健康管理について

教職員健康診断の完全受診を図り、要精密検査者の再受診を徹底し、全教職員の健康管理に留意した。

また、職員安全衛生委員会を毎月開催し、健康管理医の指導のもと、教職員が健康で安全かつ快適な執務ができるよう衛生管理者等による職場巡視を行うとともに、職員の意見や要望を聴取し、良好な職場環境の確保に努めている。

さらに、授業に支障のない範囲内で積極的に年次有給休暇等を活用するよう教職員を啓発し健康増進、ストレス解消等のリフレッシュに努めている。

(4) 教職員の研修について

ア 授業改善・授業力向上

(ア) 令和6年度

a 目的

将来を見据えたアクティブラーニングの充実と課題の共有

b 内容

令和5年度に続き、上記目的に基づいた2年計画の研修の2年目である。昨年度の各教科における実践を踏まえ、今年度は文部科学省発行の公的な資料なども参考にしながら、日常の授業で思考・表現活動を多く取り入れるとともに、課題を共有してその質を高める。総合教育センター推薦研修である「『主体的・対話的で深い学び』を支える授業研究」を通して、各教員自身の授業力の向上に努める。また、それらの活動をとおして、生徒の学習改善、教員の授業改善へ繋げていく。さらに、中等部と高校相互の授業見学を継続的に行うことにより、互いに指摘しあって授業力の向上に努めていく。

(イ) 令和7年度

a 目的

指導と評価の一体化の再確認と主体的・対話的で深い学びの充実

b 内容

現在の学習指導要領において本格的に施行されている観点別評価の実施状況と課題を再確認し、その課題を共有して評価の質を高める。そして、令和6年度に研修した「『主体的・対話的で深い学び』の充実につなげていく。また、それらの活動をとおして、生徒の学習改善、教員の授業改善をはかる。

また、中等部と高校相互の授業見学を継続的に行うことにより、互いに指摘しあって授業力の向上に努めていく。

イ 校内研修会等

(ア) 令和6年度

a 校内研修

(a) 目的

アクティブラーニングの充実と生徒の人権に配慮した教育活動

(b) 内容及び成果

アクティブラーニングについては、「ア 授業改善・授業力向上」の内容に加え、総合教育センター推薦研修である「『主体的・対話的で深い学び』を支える授業研究」を実施した。授業検討会において全教員参加のもと、被推薦者の研究授業を題材に、推進するとよい点、課題、改善策などを話し合った。各教員から自身の授業に立ち返った改善点も出し合った。この点については、今後の研修会で情報共有し、各教員の授業力向上に資する予定である。

人権研修では、「多様化する生徒の実態への対応と支援の基本」と題し、専門家による講演を聴講した。事後アンケートでも、多くの意見や感想が寄せられた。発達障害は、本校のような進学校ではあまり表面化しない傾向にあると思われるが、潜在的には多くの生徒が該当すると考えられる。個々の生徒への対応は難しい面もあるが、教員の意識も高く、生徒の心情等に配慮した更なる教育活動が期待できる。

不祥事根絶については、毎月の職員会議で、県教育委員会からの資料をもとに研修を行い、互いの意識を高める機会とした。

その他、防災体制の確認や救命救急法の研修を行い、情報共有と意識向上に努めた。

b 外部研修

(a) 目的

授業力向上

(b) 内容

外部団体主催の教育研究セミナーに9人に教員が参加し、その成果を各教科で共有した。総合教育センターなど公的機関が主催する研修や他校が主催する公開授業などにも複数人の教員が希望参加している。今後もこのような研修を随時紹介し、教員の参加を促していきたい。

(1) 令和7年度

a 校内研修

(a) 目的

生徒理解と人権意識の向上

(b) 内容及び成果

人権研修では、「発達障害の特性と支援としての具体的取組」と題し、専門家による講演を聴講した。発達障害は、本校のような進学校では、学力に隠れ、あまり表面化しない傾向にあるが、実際の教育活動の中で潜在的には多くの生徒が該当すると考えられる。特性との理解をはかり、より良い接し方や配慮の工夫を学ぶ機会とした。大学教授により生徒に実施している人間関係プログラムも、研修の場となっている。

不祥事根絶については、毎月の職員会議で時間を設け、県教育委員会からの資料や新聞報道などをもとに研修を行い、互いの意識を高める機会とした。

その他、防災体制の確認や救命救急法の研修を行い、情報共有と意識向上に努めた。

b 外部研修

(a) 目的

授業力向上

(b) 内容

外部団体主催の教育研究セミナーに10人に教員が参加し、その成果を各教科で共有した。総合教育センターなど公的機関が主催する研修や他校が主催する公開授業などにも複数人の教員が参加している。今後もこのような研修を随時紹介し、教員の参加を促していきたい。

6 防災対策について（令和6・7年度）

(1) 危機管理

緊急事態を未然に防止するよう生徒指導に努めている。万一の緊急事態に備え危機管理マニュアルの改訂を実施し、全職員に「危機管理の心得、緊急時の対処方法と職員の役割」を周知徹底し、生徒の防災マニュアルポケット版携帯について点検を行っている。

(2) 防火対策

学校火災を未然に防ぐことに努めているが、万一火災発生の際には、生徒の生命・身体の安全とともに、建築物等教育財産の被害の軽減を図るための防火対策等を立てている。火災報知機、電気設備等の点検を行い、機能の維持に努めるとともに、令和6年度には落雷により破損していた非常放送設備の改修を行った。

(3) 地震対策

令和7年7月の津波警報、9月の暴風警報など、生徒が学校に在籍しているタイミングで警報が発令されたこともあり、その対応の確認を行った。その際は、保護者に対応を敏速に伝達するため、災害時一斉メール配信システムを活用した。

また、地震発生時の防災訓練及び南海トラフ地震臨時情報の覚知訓練を行い、生徒の避難・集合訓練を実施した。5月の訓練では、全校生徒で地区ごとに分かれ教室残留時の食料等備蓄の確認を行った。また、避難経路の図上訓練として、登下校時、通学途上や部活動で使用する校外活動場所で活動中に大地震が発生した場合を想定して、通学路の危険箇所についての情報共有、地元の避難所の場所の確認などを行った。

- ・令和6年度：5月22日（水）、8月28日（水）に実施
- ・令和7年度：5月21日（水）、8月28日（木）に実施

7 学校開放について

《体育施設開放》

年度	期間	施設名	利用日数 (日)	利用者数 (人)	利用者負担金 (円)
令和6年度	年間	体育館	87	1,787	13,290
令和7年度	4月～9月	体育館	41	894	5,735

事務執行の根拠法令調

項 目	根拠法令
1 学校教育に関する こと	教育基本法（第1条、第2条） 学校教育法（第1条、第2条、第3条、第50条、第51条、第52条、 第60条） 学校教育法施行規則 学校保健安全法（第5条） 静岡県立学校設置条例 静岡県立高等学校学則 高等学校学習指導要領 理科教育振興法（第11条） 理科教育振興法施行令 いじめ防止対策推進法
2 学校の管理・ 運営に関する こと	学校教育法（第137条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条） 静岡県立学校管理規則 静岡県教育委員会処務規程 静岡県教育委員会事務決裁規程 教育公務員特例法（第21条、第22条） 学校保健安全法（第15条、第27条） 静岡県教育委員会職員安全衛生管理規程 学校図書館法（第3条、第4条） 社会教育法（第43条、第45条、第47条） 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 静岡県立学校の授業料等の徴収に関する条例 静岡県立学校授業料等徴収規則 高等学校等就学支援金の支給に関する法律 静岡県高等学校等奨学給付金事務処理要綱 静岡県高等学校等教育資金及び高等学校等奨学金貸与規則 独立行政法人日本スポーツ振興センター法（第16条、第17条） 静岡県情報公開条例 個人情報保護に関する法律 静岡県手数料徴収条例

学校施設の概要

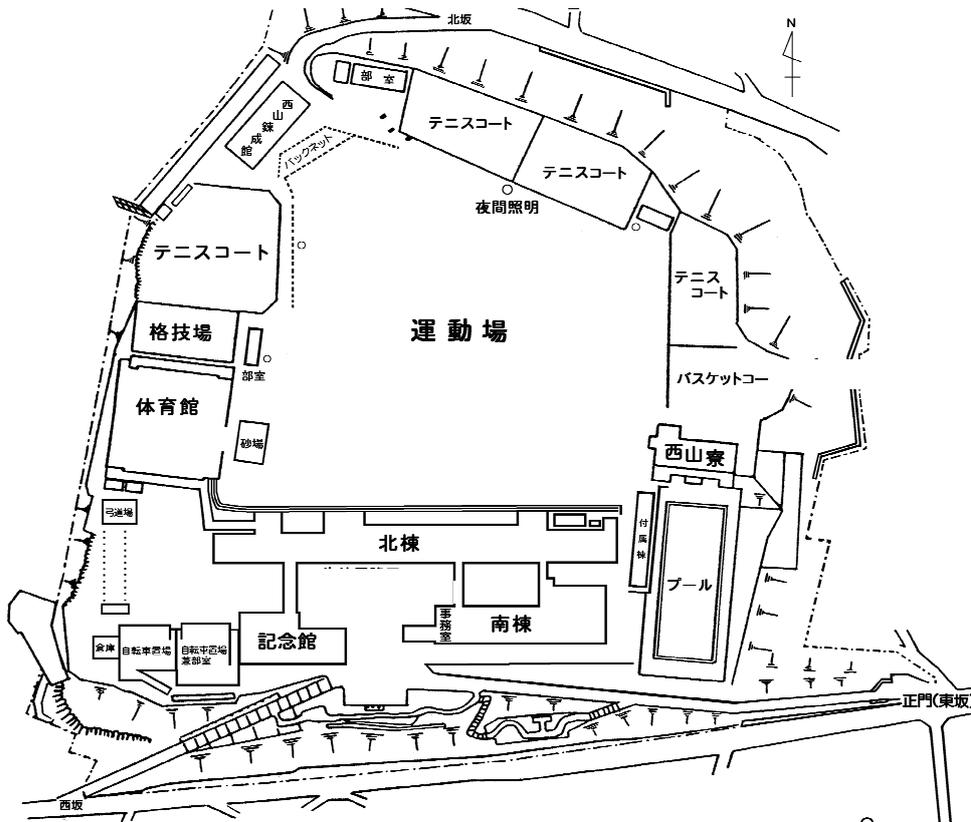
1 面積及び所有区分

(令和7年9月30日現在)

区 分	面 積 m ²	所 有 内 訳					摘 要
		県 有 m ²	国 有 m ²	市町村有 m ²	後援会有 m ²	民 有 m ²	
学 校 敷 地	54,396.98	54,003.31				393.67	
内 訳	校 舎 敷 地	13,233.57	13,233.57				
	運 動 場 敷 地	23,898.27	23,898.27				
	そ の 他 の 敷 地	17,265.14	16,871.47			393.67	
校 舎	建 3,204.80	建 3,204.80					
	延 9,546.83	延 9,546.83					
体 育 館	建 1,367.08	建 1,367.08					
	延 1,709.46	延 1,709.46					
武 道 場	建 607.63	建 607.63					
	延 508.33	延 508.33					
そ の 他 の 建 物	建 2,058.81	建 1,807.41			建 251.40		
	延 2,869.22	延 2,617.82			延 251.40		
生 活 館	建 282.85	建 282.85					
	延 821.49	延 821.49					
プ ー ル	800.00	800.00					16.0×50m
職 員 住 宅	-	-					

2 配置・規模等

(1) 校舎等の配置図



(2) 学校施設の規模等 (法面・演習林等を除く)

区 分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当 校	37,131.84 m ²	9,546.83 m ²	23,898.27 m ²
県平均	45,574.48 m ²	9,782.41 m ²	22,506.84 m ²

在 籍 生 徒 調 (令和7年9月30日現在)

学年	学科別		全日制普通科			
	区分		定員	男子	女子	計
1年	入学者		240	116	130	246
		増加				
		減少		1	1	2
	現在			115	129	244
2年	入学者			240	117	131
		増加			(1)	(1)
		減少	2	5	7	
	2年時当初		115	127	242	
		増加	1		1	
		減少				
	現在		116	127	243	
3年	入学者		240	123	126	249
		増加			(1)	(1)
		減少	3	2	(1)	5
	2年時当初		120	124	244	
		増加		1	1	
		減少	1		1	
	3年時当初		119	125	244	
		増加			(1)	(1)
		減少				
	現在		119	126	245	
合 計				350	382	732

入学志願者及び入学者数調

区 分		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
学 科 別		普通科	普通科	普通科	普通科	普通科
生徒定員 (A)		240	240	240	240	240
募集者数 (B)		90	82	86	85	82
志願者数	男	73	64	72	49	55
	女	42	44	42	48	36
	計 (C)	115	108	114	97	91
受検者数	男	72	64	72	49	55
	女	42	44	42	48	36
	計 (D)	114	108	114	97	91
合格者数	男	63	56	60	49	53
	女	35	35	35	44	35
	計 (E)	98	91	95	93	88
志願倍率 (C) / (B)		1.28	1.32	1.33	1.14	1.11
受検倍率 (D) / (B)		1.27	1.32	1.33	1.14	1.11
入学者数	男	126	127	123	117	116
	女	122	122	126	131	130
	計 (F)	248	249	249	248	246
充足率 (F) / (A)		1.03	1.04	1.04	1.03	1.03

※ 入学者数には、中等部からの無選抜生徒を含む。

卒業生の動向調

1 進路状況

		学科別			
年 度		4年度	5年度	6年度	
卒業生徒数		242 人	237 人	237 人	
内	(進学志願者数)	(238) 人	(236) 人	(237) 人	
	進学者	大 学 ・ 短 大	210 人	208 人	209 人
		専修・各種学校等	2 人	1 人	0 人
		小 計	212 人	209 人	209 人
訳	就 職 者	1 人	0 人	0 人	
	自 営 者	0 人	0 人	0 人	
	進 学 準 備 者	28 人	28 人	28 人	
	そ の 他	1 人	0 人	0 人	
合 計		242 人	237 人	237 人	

2 求人状況

区分	4年度	5年度	6年度
就職希望者数	1 人	0 人	0 人
求人数	0 人	0 人	0 人
求人倍率	0.0 倍	0.0 倍	0.0 倍

3 資格取得状況 (令和6年度)

学 科 別	普 通 科
卒業生徒数	237 人
実用英語技能検定(1級)	1 人
実用英語技能検定(準1級)	18 人
実用英語技能検定(2級)	65 人
合 計	84 人

生徒の状況

1 生徒の出身地域及び通学方法

(1) 出身地 (令和7年9月30日現在) (単位:人)

市町名	浜松市	磐田市	湖西市	袋井市	掛川市	その他	合計
生徒数	617	36	49	20	6	4	732
構成比%	84.3%	4.9%	6.7%	2.7%	0.8%	0.6%	100%

(2) 通学方法 (令和7年9月30日現在) (単位:人)

区分	徒歩	自転車	バス	遠鉄電車	J R	合計
生徒数	32	411	102	71	116	732
構成比%	4.4%	56.1%	13.9%	9.7%	15.8%	100%

2 部(クラブ)の加入状況 (令和7年9月30日現在) (単位:人)

区 分		運動部	文化部	未加入者	計
部(クラブ)数		13	9	/	22
男子	1年	81	29	5	115
	2年	86	27	3	116
	3年	88	29	2	119
	計(A)	255	85	10	350
	構成比	72.8%	24.3%	2.9%	100%
女子	1年	48	76	5	129
	2年	49	61	17	127
	3年	51	65	10	126
	計(B)	148	202	32	382
	構成比	38.7%	52.9%	8.4%	100%
合計	(A+B)	403	287	42	732
	構成比	55.1%	39.2%	5.7%	100%

(全日制)

授 業 料

期 別	月 別	調 定 の 状 況							
		1 年		2 年		3 年		計	
		人員	調 定 額	人員	調 定 額	人員	調 定 額	人員	調 定 額
一 期	4	人	円	人	円	人	円	人	円
	7	100	2,970,000	110	3,267,000	89	2,643,300	299	8,880,300
	8								
	計	100	2,970,000	110	3,267,000	89	2,643,300	299	8,880,300
二 期	7	人	円	人	円	人	円	人	円
	10	114	5,643,000	115	5,692,500	93 1	4,603,500 29,700	322 1	15,939,000 29,700
	11					▲ 1	▲ 9,900	▲ 1	▲ 9,900
	計	114	5,643,000	115	5,692,500	93	4,623,300	322	15,958,800
三 期	12	人	円	人	円	人	円	人	円
	1	114	4,514,400	115	4,554,000	92	3,643,200	321	12,711,600
	計	114	4,514,400	115	4,554,000	92	3,643,200	321	12,711,600
合 計		328	13,127,400	340	13,513,500	274	10,909,800	942	37,550,700

収 納 状 況 調

(令和6年度)

収 納 の 状 況				異 動 者 等 の 状 況
納 期 内 収 納 額	収 納 率	納 期 後 収 納 額	収 入 未 済 額	
円	%	円	円	
				A. 期首収納権利発生額= 8,880,300 円 (299 人× 9,900 円× 3 月) B. 収納権利増減 (▲) 額= 0 円
8,850,600	99.7	0	29,700	
		29,700	0	
8,850,600	99.7	29,700	0	C. 収納必要額A (±) B = 8,880,300 円
				A. 期首収納権利発生額= 15,988,500 円 (323 人× 9,900 円× 5 月) B. 収納権利増減 (▲) 額= ▲ 29,700 円 9月30日: 3年: 転学▲ 1 1人× 9,900 円× 2 月= ▲ 19,800 円 10月31日: 3年: 転学▲ 1 1人× 9,900 円× 1 月= ▲ 9,900 円
15,820,200	99.1	0	148,500	
▲ 9,900		148,500	0	
15,810,300	99.1	148,500	0	C. 収納必要額A (±) B = 15,958,800 円
				A. 期首収納権利発生額= 12,711,600 円 (321 人× 9,900 円× 4 月) B. 収納権利増減 (▲) 額= 0 円
12,711,600	100.0	0	0	
12,711,600	100.0	0	0	
				C. 収納必要額A (±) B = 12,711,600 円
37,372,500	99.5	178,200	0	D. 収納必要額= 37,550,700 円

(全日制)

授 業 料

期 別	月 別	調 定 の 状 況							
		1 年		2 年		3 年		計	
		人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額
一 期	4	人	円	人	円	人	円	人	円
	7					1	29,700	1	29,700
	8								
	計	0	0	0	0	1	29,700	1	29,700
合 計		0	0	0	0	1	29,700	1	29,700

収 納 状 況 調

(令和7年度)
(令和7年9月30日現在)

収 納 の 状 況				異 動 者 等 の 状 況
納 期 内 収 納 額	収 納 率	納 期 後 収 納 額	収 入 未 済 額	
円	%	円	円	
				A. 期首収納権利発生額= 29,700 円 (1 人 × 9,900 円 × 3 月)
29,700	100.0	0	0	B. 収納権利増減 (▲) 額= 0 円
29,700	100.0	0	0	C. 収納必要額A (±) B = 29,700 円
29,700	100.0	0	0	D. 収納必要額= 29,700 円

県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調

区 分	令和6年度	令和7年度 (令和7年9月30日現在)
	件 数	件 数
入学検定料	86	1

(注) 1 本表は出先機関において、該当がある場合に調製する。

2 「区分」欄は、使用料及び手数料の名称を記載する。

預 金 調

(令和7年9月30日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高 (円)	摘 要
静岡銀行成子支店	無利息型普通預金	0142555	静岡県立浜松西高等学校 資金前渡者 中村 泰子	0	給与
静岡銀行成子支店	無利息型普通預金	0278658	(自振口) 静岡県立浜松西高等学校 資金前渡者 中村 泰子	0	光熱水費、電話料金等の自動引落
浜松磐田信用金庫 東伊場支店	無利息型普通預金	2081935	静岡県立浜松西高等学校 奨学給付金 校 長 中村 泰子	0	高等学校等奨学給付金の校長への受領委任者分の入出金
残 高 合 計				0	

郵 券 等 受 払 調

(令和7年9月30日現在)
(単位：枚、円)

区分	種類	令 和 6 年 度						令 和 7 年 度								摘要
		繰 越		受 入		払 出		繰 越		受 入		払 出		差引現在高		
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	
郵券	26円券	0	0	12	312	3	78	9	234	0	0	3	78	6	156	通信・運搬用
郵券	84円券	13	1,092	0	0	4	336	9	756	0	0	3	252	6	504	通信・運搬用
計			1,092		312		414		990		0		330		660	
iTunes カード	1,500円券	10	1,785	0	0	0	0	10	1,785	0	0	0	0	10	1,785	ICT実習用
計			1,785		0		0		1,785		0		0		1,785	

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節名	会計	款	項	目	執行済額（円）		
					5年度	6年度	左のうち、 5年度からの 繰越額分
(12) 委託料	一般	教育費	高等学校費	高等学校 管理費		5,820,760	
	一般	教育費	特別支援 学校費	特別支援 学校管理費		2,417,800	
計					7,907,460	8,238,560	0
(14) 工事請負費	一般	教育費	教育委員会 費	教育管理費		1,067,000	
計					9,625,000	1,067,000	0
(16) 公有財産 購入費						0	
計					0	0	0
(17) 備品購入費	一般	教育費	高等学校費	高等学校 管理費		378,400	
	一般	教育費	学校教育費	高校教育費		8,269,800	
計					611,600	8,648,200	0
(18) 負担金、補助 及び交付金	一般	教育費	高等学校費	高等学校 管理費		49,314,100	
計					49,043,000	49,314,100	0
(21) 補償、補填 及び賠償金						0	
計					0	0	0

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和7年9月30日現在)

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)	
						うち、6年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費	1,675,520	0
	一般	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	674,850	0
計					2,350,370	0
(14) 工事請負費	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費	957,000	0
計					957,000	0
(16) 公有財産購入費					0	0
計					0	0
(17) 備品購入費	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費	0	0
		教育費	学校教育費	高校教育費	4,356,000	0
計					4,356,000	0
(18) 負担金、補助及び交付金	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費	11,585,200	0
計					11,585,200	0
(21) 補償、補填及び賠償金					0	0
計					0	0

委託料に関する調

(令和6年度)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支 出 年月日	金 額	委託業務 の内容	摘 要
				当初額	変更 増減額	計						
1	(事務関係) 建築物環境衛生 管理業務	㈱ シーピーエム	円 8,312,700	円 7,773,260	円 0	円 7,773,260	一般	6.4.1 ～ 7.3.31	6.7.31 6.10.31 7.1.31 7.4.30	円 1,782,000 2,802,360 1,684,870 1,504,030	空気環境測定 害虫駆除 貯水槽清掃 水質検査	浜松北高等学校 浜松商業高等学校 浜松湖北高等学校 天竜高等学校 西部特別支援学校 浜松みをつくし特 別支援学校
2	産業廃棄物収 集・運搬業務	日本産業 廃棄物処 理㈱	41,800	41,800	0	41,800	随契	7.1.28 ～ 7.3.31	7.2.21	41,800	産業廃棄物の 収集・運搬	随契 1号 (少額)
3	産業廃棄物処 分業務	㈱太洋 サービ ス	44,000	44,000	0	44,000	随契	7.1.28 ～ 7.3.31	7.3.6	44,000	産業廃棄物の 処分	随契 1号 (少額)
4	産 業 廃 棄 物 収集運搬及び処 分業務	㈱リサイ クルク リーン	327,800	327,800	0	327,800	随契	6.12.20 ～ 7.2.28	7.3.7	327,800	産業廃棄物の 収集・運搬及 び処分	随契 1号 (少額)
5	産 業 廃 棄 物 収集運搬処分業 務	㈱リサイ クルク リーン	51,700	51,700	0	51,700	随契	6.10.16 ～ 7.2.28	7.3.25	51,700	産業廃棄物の 収集・運搬及 び処分	随契 1号 (少額)
	事務関係計	5件		8,238,560	0	8,238,560				8,238,560		
	合 計	5件		8,238,560	0	8,238,560				8,238,560		
参考 1	消防用設備等 保守点検業務	静岡県消 防設備保 守点検業 協同組合		12,650,859	△ 61,786	12,589,073		6.4.1 ～ 7.3.31			消防設備保守 点検管理 (年2回)	浜松商業高等学校
参考 2	プール浄化装置 保守点検業務	清化工業 ㈱		998,800	0	998,800		6.4.8 ～ 6.12.27			プール循環浄化 装置保守点検 (年2回)	浜松東高等学校
参考 3	可燃物収集運搬 処分業務	環境保全 ㈱		運搬料1校 1回@715 処分料1kg @13.2	0	運搬料1校 1回@715 処分料1kg @13.2		6.4.8 ～ 7.3.31			可燃物収集運搬 処分 (週3日)	浜松大平台高等学 校 単価契約
参考 4	自家用電気工作 物保安管理業務	遠鉄アシ スト㈱		2,786,520	502,590	3,289,110		6.4.1 ～ 7.3.31			自家用電気工作 物保守点検	浜松湖東高等学校
参考 5	警 備 業 務	総合警備 保障㈱ 静岡支社		6,705,600	0	6,705,600		元.10.1 ～ 6.9.30			機械警備業務 (毎日)	浜松北高等学校 R1債務
参考 6	警 備 業 務	総合警備 保障㈱ 静岡支社		8,448,000	0	8,448,000		6.10.1 ～ 11.9.30			機械警備業務 (毎日)	浜松北高等学校 R6債務
参考 7	定期点検業務	㈱いま総 合設計		3,784,000	0	3,784,000		6.8.2 ～ 7.2.28			建築基準法第12 条に基づく建築 及び設備の定期 点検	浜松南高等学校
	計	7件										

委託料に関する調

(令和7年度)
(令和7年9月30日現在)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
1	(事務関係) 建築物環境衛生管理業務	(株)シーピーエム	円 8,697,040	円 8,401,470	円 0	円 8,401,470	一般	7.4.1 ～ 8.3.31	7.7.31	円 1,921,370	空気環境測定 害虫駆除 貯水槽清掃 水質検査	浜松北高等学校 浜松商業高等学校 浜松湖北高等学校 天竜高等学校 西部特別支援学校 浜松みをつくし特別支援学校
2	PCB濃度分析業務	ユーロフィン日本総研(株)	調査料1式@33,550 分析料1式@17,820	調査料1式@33,000 分析料1式@16,500	0	調査料1式@33,000 分析料1式@16,500	随契	7.7.30 ～ 7.8.15	7.9.16	429,000	理科実験機器の かかるPCB含有 調査・濃度分析	随契 1号 (少額) 単価契約
	事務関係計	2件		8,797,470	33,000	8,830,470				2,350,370		
	合計	2件		8,797,470	33,000	8,830,470				2,350,370		
参考1	消防用設備等 保守点検業務	静岡県消防設備保守点検業協同組合	/	12,540,000	0	12,540,000	/	7.4.1 ～ 8.3.31	/	/	消防設備保守 点検管理 (年2回)	浜松商業高等学校
参考2	プール浄化装置 保守点検業務	清化工業(株)	/	995,500	0	995,500	/	7.4.10 ～ 7.12.26	/	/	プール循環浄化 装置保守点検 (年2回)	浜松東高等学校
参考3	可燃物収集運搬 処分業務	環境保全(株)	/	運搬料1校 1回@770 処分料1kg @13.2	0	運搬料1校 1回@770 処分料1kg @13.2	/	7.4.7 ～ 8.3.31	/	/	可燃物収集運搬 処分 (週3日)	浜松大平台高等学校 単価契約
参考4	自家用電気工作 物保安管理業務	遠鉄アシスト(株)	/	3,602,280	0	3,602,280	/	7.4.1 ～ 8.3.31	/	/	自家用電気工作 物保守点検	浜松湖東高等学校
参考5	警備業務	総合警備保障(株)静岡支社	/	8,448,000	0	8,448,000	/	6.10.1 ～ 11.9.30	/	/	機械警備業務 (毎日)	浜松北高等学校 R6債務
参考6	定期点検業務	片山一級建築士事務所	/	3,630,000	0	3,630,000	/	7.8.4 ～ 8.2.27	/	/	建築基準法第12 条に基づく建築 及び設備の定期 点検	浜松南高等学校
	計	6件										

負担金支出調

(令和6年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	令和6年度全国高等学校長協会第76回総会・研究協議会参加費	全国高等学校長協会	開催案内による	令和6年度全国高等学校長協会第76回総会・研究協議会	円 4,000	6.5.13
2	令和6年度全国中高一貫教育研究会会費	全国中高一貫教育研究会	会則による	全国中高一貫教育研究会	10,000	6.6.20
3	令和6年度東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会参加費	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会	開催要項による	令和6年度東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会	2,000	6.7.18
4	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 (第1期分 434人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	12,889,800	振替日 6.7.31
5	全国普通科高等学校長会第74回総会・研究協議会参加費	全国普通科高等学校長会	開催要項による	全国普通科高等学校長会第74回総会・研究協議会鳥取・島根大会	6,000	6.8.23
6	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 (第2期分 410人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	20,265,300	振替日 6.10.31
7	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 (第3期分 409人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	16,137,000	振替日 7.1.31
計		7件	/	/	49,314,100	/

負担金支出調

(令和7年度)
(令和7年9月30日現在)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	令和7年度全国高等学校長協会第77回総会・研究協議会参加費	全国高等学校長協会	開催案内による	令和7年度全国高等学校長協会第77回総会・研究協議会	円 4,000	7.5.13
2	令和7年度東海四県高等学校長連絡協議会総会・研究協議会参加費	東海四県高等学校長連絡協議会	開催通知による	令和7年度東海四県高等学校長連絡協議会・研究協議会	2,000	7.7.22
3	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料 (第1期分 390人分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	11,563,200	振替日 7.7.31
4	全国普通科高等学校長会第75回総会・研究協議会参加費	全国普通科高等学校長会	開催要項による	全国普通科高等学校長会第75回総会・研究協議会 香川大会	6,000	7.8.8
5	令和7年度全国中高一貫教育研究会会費	全国中高一貫教育研究会	会則による	全国中高一貫教育研究会	10,000	7.9.29
計		5件	/	/	11,585,200	/

建 築 工

整理 番号	予算科目	工 事 名	工事箇所	当 初 設計金額	契 約 金	
					当 初 額	変更増減額
1	教育管理費	令和6年度静岡県立 浜松西高等学校北棟 東トイレ系統污水配 管更新工事	浜松市中央 区西伊場町	円 1,067,000	円 1,067,000	円 0
		合 計	1 件	1,067,000	1,067,000	0
参考	教育管理費	令和6年度[第36- Z0835-01号]浜松西 高等学校自動火災報 知設備更新工事	浜松市中央 区西伊場町	17,083,000	16,500,000	11,000
参考	教育管理費	令和6年度[第36- Z1518-01号]浜松西 高等学校格技場屋根 修繕他工事	浜松市中央 区西伊場町	28,853,000	26,400,000	4,917,000
		合 計	2 件	45,936,000	42,900,000	4,928,000

整理 番号	予算科目	工 事 名	工事箇所	当 初 設計金額	契 約 金	
					当 初 額	変更増減額
1	教育管理費	令和7年度静岡県立 浜松西高等学校北棟 3階3A、3B教室空 調修繕工事	浜松市中央 区西伊場町	円 957,000	円 957,000	円 0
		合 計	1 件	957,000	957,000	0

事 調

(令和6年度)

額	契約 締結 方法	受注者	着 手 完 成 (予 定) 年 月 日	支出済額	工 事 概 要	公有財 産台帳	摘 要
計							
円 1,067,000	随契	小野設備 工業(株)	7.1.17 7.3.27	円 1,067,000	污水配管更新	—	令達 R6.11.27 支払 R7.4.10 随契1号(少額)
1,067,000				1,067,000			
16,511,000	指名	日興電気 通信(株)	6.8.29 7.2.28	16,511,000	自動開催報知設備 の更新	—	本庁経理 浜松土木事務所
31,317,000	一般	東海アー バン開発 (株)	6.10.29 7.3.14	31,317,000	格技場屋根・柔道 場床の修繕	—	本庁経理 建築工事課
47,828,000				47,828,000			

(令和7年度)
(令和7年9月30日現在)

額	契約 締結 方法	受注者	着 手 完 成 (予 定) 年 月 日	支出済額	工 事 概 要	公有財 産台帳	摘 要
計							
円 957,000	随契	万菱調機 (株)	7.7.23 7.9.11	円 957,000	圧縮機及び周辺機 器の取替	—	令達 R7.7.4 支払 R7.9.30 随契1号(少額)
957,000				957,000			

公 有 財 産 調

(令和6年度)

区分	令和6年3月31日現在		増		減		令和7年3月31日現在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産	/	千円 2,017,002	/	千円 1,077	/	千円 63,815	/	千円 1,954,264	
土地	m ² 54,003.31	1,232,786					m ² 54,003.31	1,232,786	
立木竹	本 35	1,556			1	52	本 34	1,504	
建物	m ² 7,269.77 15,203.93	685,188				52,432	m ² 7,269.77 15,203.93	632,756	
工作物	個 88	97,472	2	1,077		11,331	個 90	87,218	
普通財産	/		/		/		/		
土地	m ² 0	0					m ² 0	0	
建物	m ² 0 0	0			—		m ² 0 0	0	
工作物	個 0	0					個 0	0	
公有財産に準ずるもの	/	121	/		/		/	121	
電話加入権	件 5	121					件 5	121	

令和7年度中増減なし

借 地 借 家 等 調

(令和7年9月30日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は 面 積	借 料		契約期間	所有者又は契約者 氏名	用途
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	敷地	浜松市中央 区西伊場町 4215-9 4109-9 4109-4 4231-2	宅地 ・ 雑種 地	学 校 用 地	m ² 393.67	円 無償	円 無償	R6.4.1 ～ R9.3.31	社会福祉 法人 みんなの 森福社会	学校敷地
土地計						393.67					
2	建物	雑屋 建	浜松市中央 区西伊場町 4221-2	建物	軽量鉄骨造 鉄板葺建 平屋建	建 124.20 延 124.20	無償	無償	R7.4.1 ～ R12.3.31	浜 松 西 高等学 校・中 等部 後援会 長	弓道場
3	建物	雑屋 建	浜松市中央 区西伊場町 4221-2	建物	軽量鉄骨造 折板葺建 平屋建	建 29.52 延 29.52	無償	無償	R6.4.1 ～ R11.3.31	浜 松 西 高等学 校・中 等部 後援会 長	西山寮北 倉庫
4	建物	雑屋 建	浜松市中央 区西伊場町 4221-2	建物	軽量鉄骨造 トタン葺 平屋建	建 17.94 延 17.94	無償	無償	R6.4.1 ～ R11.3.31	浜 松 西 高等学 校・中 等部 後援会 長	防災倉庫
5	建物	雑屋 建	浜松市中央 区西伊場町 4221-2	建物	コンクリート ブロック造 鉄板葺建 平屋建	建 13.12 延 13.12	無償	無償	R7.4.1 ～ R12.3.31	浜 松 西 高等学 校・中 等部 後援会 長	グラウンド 北シャワー 室
6	建物	雑屋 建	浜松市中央 区西伊場町 4221-2	建物	コンクリート ブロック造 鉄板葺建 平屋建	建 17.40 延 17.40	無償	無償	R7.4.1 ～ R12.3.31	浜 松 西 高等学 校・中 等部 後援会 長	体育館南 屋外便所
7	建物	雑屋 建	浜松市中央 区西伊場町 4221-2	建物	補強コンクリ ートブロッ ク造葺建 折平屋建	建 15.75 延 15.75	無償	無償	R7.4.1 ～ R12.3.31	浜 松 西 高等学 校・中 等部 後援会 長	体育館南 シャワー 室
8	建物	雑屋 建	浜松市中央 区西伊場町 4221-2	建物	軽量鉄骨造 トタン葺 平屋建	建 22.85 延 22.85	無償	無償	R6.4.1 ～ R11.3.31	浜 松 西 高等学 校・中 等部 後援会 長	野 球 部 器 具 庫
9	建物	雑屋 建	浜松市中央 区西伊場町 4221-2	建物	軽量鉄骨造 トタン葺 平屋建	建 10.62 延 10.62	無償	無償	R7.4.1 ～ R12.3.31	浜 松 西 高等学 校・中 等部 後援会 長	体育館西 倉 庫
建物計						建 251.40 延 251.40					
10	工作物	冷暖 房装 置	浜松市中央 区西伊場町 4221-2			1個	237,046	237,046	R3.7.1 ～ R16.6.30	三井住友 ファイナ ンス& リース株 式会社	普通教室 空調
11	工作物	雑工 作物	浜松市中央 区西伊場町 4221-2			1個	無償	無償	R5.4.1 ～ R10.3.31	浜 松 西 高等学 校・中 等部 後援会 長	弓道場の 場入口扉
12	工作物	雑工 作物	浜松市中央 区西伊場町 4221-2			1個	無償	無償	R5.5.31 ～ R10.3.31	浜 松 西 高等学 校・中 等部 後援会 長	弓道場射 場入口扉
13	工作物	冷暖 房装 置	浜松市中央 区西伊場町 4221-2			1個	5,338,206	5,338,206	R6.7.1 ～ R19.6.30	NTT・TC リース株 式会社静 岡支店	特別教室 空調
14	工作物	雑工 作物	浜松市中央 区西伊場町 4221-2			1個	無償	無償	R7.4.1 ～ R12.3.31	浜 松 西 高等学 校・中 等部 後援会 長	弓道場の 場防矢板
15	工作物	雑工 作物	浜松市中央 区西伊場町 4221-2			5ヶ所	無償	無償	R7.4.1 ～ R10.3.31	浜 松 西 高等学 校・中 等部 後援会 長	散水栓装 置
16	工作物	雑工 作物	浜松市中央 区西伊場町 4221-2			43.5本	無償	無償	R6.4.1 ～ R11.3.31	浜 松 西 高等学 校・中 等部 後援会 長	日よけ
工作物計						7個		5,575,252			

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

(令和7年度)

(令和7年9月30日現在)

区 分	事業名又は契約名	内 容	契約額	(契約額の年度別内訳)				
				3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
長期継続 契約	電子複写機賃貸借 契約	電子複写機23台 (契約日) 令和3年4月1日	概算 円 29,350,200	円 5,565,900	円 5,348,240	円 5,209,739	円 5,049,551	概算 円 5,870,040

行政財産貸付・使用許可調

(令和7年9月30日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	貸付料又は使用料		貸付又は使用許可期間	貸付又は使用許可を受けた者の氏名	貸付・使用許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	建物	事務所建	浜松市中央区西伊場町3-1	建物	鉄骨鉄筋造 コンクリート	3.30		免除	R7.4.1 ～ R12.3.31	浜松西高等学校 ・中等部PTA 会長	PTA雇用 職員執務場所
2	建物	事務所建	浜松市中央区西伊場町3-1	建物	鉄筋造 コンクリート	32.40		免除	R7.4.1 ～ R12.3.31	浜松西高等学校 同窓会長	同窓会事務局
3	建物	事務所建	浜松市中央区西伊場町3-1	建物	重量鉄骨造	2.00		329,633	R5.4.1 ～ R8.3.31	サントリービバレッジ ソリューション㈱	自動販売機 設置
4	土地	学校敷地	浜松市中央区西伊場町3-1	学校敷地	学校敷地	1.00		免除	R5.4.1 ～ R8.3.31	浜松西高等学校 ・中等部PTA 会長	公衆電話
5	土地	学校敷地	浜松市中央区西伊場町3-1	学校敷地	学校敷地	0.81		免除	R7.4.1 ～ R12.3.31	浜松西高等学校 ・中等部後援 会長	水準点碑
6	土地	学校敷地	浜松市中央区西伊場町3-1	学校敷地	学校敷地	12.50		免除	R7.4.1 ～ R12.3.31	浜松西高等学校 ・中等部PTA 会長	PTA雇用 職員駐車場
7	土地	学校敷地	浜松市中央区西伊場町3-1	学校敷地	学校敷地	2.13		免除	R7.4.1 ～ R12.3.31	浜松西高等学校 ・中等部後援 会長	60周年記念碑
8	土地	学校敷地	浜松市中央区西伊場町3-1	学校敷地	学校敷地	12.56		免除	R7.4.1 ～ R12.3.31	浜松西高等学校 ・中等部後援 会長	モニュメント
9	土地	学校敷地	浜松市中央区西伊場町3-1	学校敷地	学校敷地	25.00		免除	R7.4.1 ～ R12.3.31	浜松西高等学校 同窓会長	同窓会事務局 職員駐車場
10	土地	学校敷地	浜松市中央区西伊場町3-1	学校敷地	学校敷地	2.00		700,000	R5.4.1 ～ R8.3.31	サントリービバレッジ ソリューション㈱	自動販売機 設置
11	土地	学校敷地	浜松市中央区西伊場町3-1	学校敷地	学校敷地	16	1,500	24,000	R7.4.1 ～ R12.3.31	中部電力パワーグリッド ㈱浜松営業所長	電力供給用 電柱他
12	土地	学校敷地	浜松市中央区西伊場町3-1	学校敷地	学校敷地	3	1,500	4,500	R7.4.1 ～ R12.3.31	西日本電信電話 ㈱静岡支店長	電気通信線路 設備
13	土地	学校敷地	浜松市中央区西伊場町3-1	学校敷地	学校敷地	0.33		免除	R7.4.1 ～ R12.3.31	浜松西高等学校 ・中等部後援 会長	70周年記念碑
14	土地	学校敷地	浜松市中央区西伊場町3-1	学校敷地	学校敷地	1.08		免除	R7.4.1 ～ R12.3.31	浜松西高等学校 ・中等部後援 会長	80周年記念碑
15	土地	学校敷地	浜松市中央区西伊場町3-1	学校敷地	学校敷地	1.95		免除	R7.4.1 ～ R12.3.31	浜松西高等学校 同窓会長	オリンピック 出場者顕彰碑
16	土地	学校敷地	浜松市中央区西伊場町3-1	学校敷地	学校敷地	2.20		免除	R7.4.1 ～ R12.3.31	浜松西高等学校 同窓会長	校歌碑
17	土地	学校敷地	浜松市中央区西伊場町3-1	学校敷地	学校敷地	6.30		免除	R7.4.1 ～ R12.3.31	浜松西高等学校 同窓会長	慰霊碑
18	土地	学校敷地	浜松市中央区西伊場町3-1	学校敷地	学校敷地	0.16		免除	R7.4.1 ～ R12.3.31	西伊場町自治会	防犯灯設置
19	土地	学校敷地	浜松市中央区西伊場町3-1	学校敷地	学校敷地	0.68		免除	R7.4.1 ～ R12.3.31	西伊場町自治会	カーブミラー
20	土地	学校敷地	浜松市中央区西伊場町3-1	学校敷地	学校敷地	0.04		免除	R7.4.1 ～ R8.3.31	西伊場町自治会	進入防止看板
	小計							1,058,133			

行政財産貸付・使用許可調

(令和7年9月30日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	貸付料又は使用料		貸付又は使用許可期間	貸付又は使用許可を受けた者の氏名	貸付・使用許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
21	土地	学校敷地	浜松市中央区西伊場町3-1	学校敷地	学校敷地	m ² 0.07		免除	R7.4.1 ～ R12.3.31	浜松市長	避難地標識
22	土地	学校敷地	浜松市中央区西伊場町3-1	学校敷地	学校敷地	m ² 1.44		免除	R7.4.1 ～ R12.3.31	浜松西高等学校 同窓会長	ノーベル賞 受賞記念碑
23	土地	学校敷地	浜松市中央区西伊場町3-1	学校敷地	学校敷地	m ² 0.27		免除	R7.4.1 ～ R12.3.31	浜松西高等学校 同窓会長	ノーベル賞 受賞記念碑 の説明板
24	土地	学校敷地	浜松市中央区西伊場町3-1	学校敷地	学校敷地	m ² 710.00		免除	R7.10.1 ～ R8.3.31	遠州鉄道(株)	法面対策工事
25	建物	事務所建	浜松市中央区西伊場町3-1	建物	鉄筋 コンクリート造	m ² 2.00		3,360	R7.4.1 ～ R8.3.31	浜松西高等学校 ・中等部後援 会長	自動販売機 設置
26	建物	事務所建	浜松市中央区西伊場町3-1	建物	鉄筋 コンクリート造	m ² 2301.30		27,300	R7.11.9	公益財団法人 日本語検定協会	実用英語技能 検定試験会場
	小計							30,660			
	合計							1,088,793			

主 要 備 品 調

(令和7年9月30日現在)

整理 番号	区 分		品 名 ・ 規 格	利 用 状 況	購 入 年 月	購 入 金 額
	大・中	小				
1	3-3	その他の視覚 用再生用機器	視聴覚機器一式 16mm映写機外	年0回 視聴覚教育用	平成3年11月	8,744,700
2	2-2	その他の情報伝 達機器	その他の情報伝達機器 視聴覚室配信設備一式	年5回 DX加速化推進授業用	令和7年3月	5,148,000
3	2-1	電算組織用媒体	パソコン用ソフトウェア オフィス2000Pro 外4件	毎日(年間230日) 情報等授業用	平成12年3月	4,494,000
4	3-3	プロジェクター	天吊プロジェクター 一式 EPSON EB-960W	毎日(年間230日) 普通教室授業用	平成31年3月	3,299,616
5	2-1	複合機	複合機 LX-10050M	毎日(年間230日) 情報等授業用	令和7年8月	2,178,000
6	2-1	複合機	複合機 LX-10050M	毎日(年間230日) 情報等授業用	令和7年8月	2,178,000
7	2-1	パーソナルコンピ ュータ 周辺機器	iPad 36台、収納保管庫、 外6件	毎日(年間230日) 情報等授業用	平成29年7月	1,896,560
8	8-2	ボート	ボート 舵手付クォドル プル重量艇 H4+X	毎日(年間230日) 部活動用	平成15年3月	1,554,000
9	3-3	プロジェクター	プロジェクター EB-PU2010B	月4回(年間90日) 授業、学校行事用	令和7年1月	1,496,000
10	2-1	その他の情報 処理機器	iPad、電子黒板機能付き 超短焦点プロジェクター	毎日(年間230日) 情報等授業用	平成28年3月	1,107,000
11	10-12	トレーニング 用器具	レックカール&エクステンションマシ ン セノー BA2113	毎日(年間230日) 体育授業、部活動用	平成元年12月	1,091,800
12	1-1	そ の 他 の 机	フォールディングデスク	毎日(年間230日) 情報等授業用	令和7年1月	990,000
13	2-1	その他の情報 処理機器	マークシートリーダー セコニック SR-3500	月2回(年間20日) テスト採点用	平成27年10月	955,800
14	10-07	鍵 盤 楽 器	グランドピアノ カワイ GL-30	毎日(年間230日) 学校行事、部活動用	平成30年2月	896,400
15	10-07	鍵 盤 楽 器	ピアノ カワイ NX-40	月2回(年間20日) 学校行事、式典用	平成4年1月	885,800
16	2-1	その他の情報 処理機器	校内LANサーバー一式 HP DL320	毎日(年間365日) 校内LAN用	平成21年7月	793,800
17	2-1	パーソナルコンピ ュータ 周辺機器	無線LANアクセスポイント 電源アダプタ	毎日(年間230日) 特別教室授業用	平成30年12月	770,820
18	2-1	その他の情報 処理機器	ファイルサーバー 富士通 PYT1331R3S	毎日(年間365日) 校内LAN用	平成28年2月	758,700
19	2-1	パーソナルコンピ ュータ (一式)	パソコン教室用機器 ノートパソコン 外4件	毎日(年間230日) 情報等授業用	平成27年3月	753,516
20	1-2	台	教師用実験台 3000×900×800	毎日(年間230日) 化学授業用	平成3年11月	687,010
21	1-2	台	教師用実験台 3000×900×1050	毎日(年間230日) 化学授業用	平成3年11月	676,607

職 員 調

(令和7年9月30日現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	校長	中村 泰子		□□□	□年□月	□□□□□□
2	副校長	柴 博 昭		□□□	□年□月	□□□□□□
3	教 頭	奥村 友介	理 科	□□□	□年□月	□□□□□□
4	事務長	古知 純子		□□□	□年□月	□□□□□□
5	教 諭	有賀 一 浩	地歴公民	□□□	□年□月	□□□□□□
6	教 諭	太田 喜世	国 語	□□□	□年□月	□□□□□□
7	教 諭	深田 雅一	地歴公民	□□□	□年□月	□□□□□□
8	教 諭	後藤 昌英	理 科	□□□	□年□月	□□□□□□
9	教 諭	廣 瀬 信	保健体育	□□□	□年□月	□□□□□□
10	教 諭	鈴木 直人	理 科	□□□	□年□月	□□□□□□
11	教 諭	齋藤 真弓	理 科	□□□	□年□月	□□□□□□
12	教 諭	堤 恵子	国 語	□□□	□年□月	□□□□□□
13	教 諭	江間 利弥	地歴公民	□□□	□年□月	□□□□□□
14	教 諭	藤田 水絵	外国語	□□□	□年□月	□□□□□□
15	教 諭	平野 聡	保健体育	□□□	□年□月	□□□□□□
16	教 諭	鈴木 利幸	国 語	□□□	□年□月	□□□□□□
17	教 諭	中西 亜希	数 学	□□□	□年□月	□□□□□□
18	教 諭	川井 靖博	数 学	□□□	□年□月	□□□□□□
19	教 諭	平野 照代	数 学	□□□	□年□月	□□□□□□
20	教 諭	神谷 昌志	外国語	□□□	□年□月	□□□□□□
21	教 諭	小泉 真一郎	地歴公民	□□□	□年□月	□□□□□□
22	教 諭	中村 等	外国語	□□□	□年□月	□□□□□□
23	教 諭	佐藤 光	地歴公民	□□□	□年□月	□□□□□□
24	教 諭	小澤 智子	家庭科	□□□	□年□月	□□□□□□
25	教 諭	小野田 宏親	保健体育	□□□	□年□月	□□□□□□
26	教 諭	諸富 亜理子	国 語	□□□	□年□月	□□□□□□
27	教 諭	今井 悟	外国語	□□□	□年□月	□□□□□□
28	教 諭	内藤 康貴	保健体育	□□□	□年□月	□□□□□□
29	教 諭	藤田 信行	数 学	□□□	□年□月	□□□□□□

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
30	教諭	上西智紀	理科	□□□	□年□月	□□□□□□
31	教諭	梶原功次	数学	□□□	□年□月	□□□□□□
32	教諭	加茂陽子	外国語	□□□	□年□月	□□□□□□
33	教諭	渥美文宏	保健体育	□□□	□年□月	□□□□□□
34	教諭	金原猛浩	数学	□□□	□年□月	□□□□□□
35	教諭	中村この美	理科	□□□	□年□月	□□□□□□
36	教諭	古浦謙一	数学	□□□	□年□月	□□□□□□
37	教諭	夏目優人	数学	□□□	□年□月	□□□□□□
38	教諭	中村洋平	理科	□□□	□年□月	□□□□□□
39	教諭	菅龍之介	芸術(音楽)	□□□	□年□月	□□□□□□
40	教諭	三谷健太	数学	□□□	□年□月	□□□□□□
41	教諭	藤田侑希	国語	□□□	□年□月	□□□□□□
42	教諭	橋本洋佑	外国語	□□□	□年□月	□□□□□□
43	教諭	西田卓人	理科	□□□	□年□月	□□□□□□
44	教諭	鈴木智也	外国語	□□□	□年□月	□□□□□□
45	教諭	加藤功祐	理科	□□□	□年□月	□□□□□□
46	教諭	杉浦由貴	国語	□□□	□年□月	□□□□□□
47	教諭	渡邊公登	地歴公民	□□□	□年□月	□□□□□□
48	教諭	磯部宗志	地歴公民	□□□	□年□月	□□□□□□
49	教諭	黒柳寧子	外国語	□□□	□年□月	□□□□□□
50	教諭	松下陽香	国語	□□□	□年□月	□□□□□□
51	養護教諭	楠屋里枝	養護	□□□	□年□月	□□□□□□
52	実習助手	植田潤平	理科	□□□	□年□月	
53	主幹	岡本直子	庶務会計	□□□	□年□月	□□□□□□
54	主査	山下真粧美	会計庶務	□□□	□年□月	□□□□□□
55	主査	大塚美保	庶務会計	□□□	□年□月	□□□□□□
56	主任	中村肇孝	管財会計	□□□	□年□月	□□□□□□
57	主任技能員	大庭陽一	用務	□□□	□年□月	□□□□□□
平均年数					4年0月	

職 員 調

(令和7年9月30日現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	教諭	阿部 智子	地歴公民	□□□	□年 □月	□□□□□□
	教諭	渡邊 諒	保健体育	□□□	□年 □月	□□□□□□
	教諭	福永 将	保健体育	□□□	□年 □月	□□□□□□
	教諭	山下 美帆	芸術(音楽)	□□□	□年 □月	□□□□□□
	主事	沼野 更紗	庶務会計	□□□	□年 □月	□□□□□□
2	主事	富田 幸雄	管財会計	□□□	□年 □月	
3	外国語 指導講師	フラクシントン・エリザベス・ローズ	外国語	□□□	□年 □月	
4	非常勤講師	大石 義敬	国語	□□□	□年 □月	□□□□□□
5	非常勤講師	田澤 晴夫	数 学	□□□	□年 □月	□□□□□□
6	非常勤講師	佐藤 知佳	芸術(美術)	□□□	□年 □月	□□□□□□
7	非常勤講師	渥美 佐代子	芸術(書道)	□□□	□年 □月	□□□□□□
8	非常勤講師	前島 寿美江	外国語	□□□	□年 □月	□□□□□□
9	非常勤 労務職員	高橋 直樹	用 務	□□□	□年 □月	
10	非常勤 労務職員	小野田 和敏	用 務	□□□	□年 □月	
	学校医	山口 学	内 科	□□□	□年 □月	
	学校医	兼子 周一	眼 科	□□□	□年 □月	
	学校医	伊藤 光成	耳鼻科	□□□	□年 □月	
	学校歯科医	中野 宗一	歯 科	□□□	□年 □月	
	学校歯科医	内田 晃平	歯 科	□□□	□年 □月	
	学校薬剤師	沖田 佳子	薬 剤 師	□□□	□年 □月	
	健康管理医	鈴木 啓一郎		□□□	□年 □月	

職 員 の 年 齢 調

(令和7年9月30日現在)

年 齢	人 員	摘 要
20歳未満	0 人	
20歳以上30歳未満	4	
30歳以上40歳未満	14	
40歳以上50歳未満	13	
50歳以上56歳未満	8	
56歳以上61歳未満	10	
61歳以上	8	再任用8人
計	57	平均年齢 47 歳 5 月

健 康 管 理

1 令和6年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 58人 <hr style="width: 50%; margin: 0 auto;"/> 職員数 58人
受 診 率	100.0%
県平均受診率	100.0%

(1) 未受診の理由

2 令和7年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分		人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。	人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療 人
B 2		要経過観察 人
C 1	勤務をほぼ正常に行っているが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療 人
C 2		要経過観察 人
D 1	平常の勤務で良い。	要 治 療 16 人 (16)
D 2		要経過観察 9 人 (9)
D 3		医 療 不 要 30 人 (30)
区 分 者 計		55 人 (55)
未 区 分 者 数		2 人
合 計		57 人 (55)

(1) 管理区分A～C 2 該当者に対する措置状況

(2) 未区分の理由

ア 産休・育休	0 人
イ 新規採用	1 人
ウ 自己都合による未受診	0 人
エ その他 □□□	1 人